

令和 4 年度事業報告
社会福祉法人同仁会
理事長・施設長 柿添 信義



令和4年度事業報告

社会福祉法人同仁会

1. 社会福祉法人同仁会経営の原則

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 介護の基本理念

高齢者が自らの意志に基づき自立した質の高い生活を送ることができるように支援していく。(自立支援の原則に沿って利用者個々の QOL の向上を目指す。)

3. 施設の理念及び方針

- (1) 利用者に対して尊敬の念を持ち、個性を尊重し利用者、家族の意向を十分取り入れた介護計画に沿って、利用者個人がサービスを決定できるよう援助し、より良いサービス提供に努める。
- (2) 地域への貢献を念頭に、家族・地域住民との連携を密にし、情報の公開、提供及び施設開放に努める。
- (3) 施設は、適切な経営を行えるよう研鑽を重ね、基盤強化、効率化に努める。
- (4) 個人情報保護の遵守

4. 今年度最重点目標

新型コロナウイルスの侵入阻止（マニュアルの徹底）！

利用者のご家族との“きずな”を支援していこう！

全職員が基本に還り、外部から評価される事業所を目指そう！

- (1) **利用者様中心に** (小さな変化を見逃さない)

利用者の残存機能維持に努めよう・家族とのつながりを深めよう

苦情及びリスク管理の構築

- (2) 全員で取り組む**ケアの質の向上**

施設内研修の充実 (**全員が講師になって**)

「なぜ・どうして」を常に意識していく仕組み

- (3) 法人としての**ガバナンスの強化・コンプライアンス維持の徹底**

社会福祉法人として「法令順守」は当然のことであり、職員全員が意識して取り組んでいく、研修体制を確立する。社会人としての常識あるモラルの徹底。

5. 施設・事業所重点目標

- (1) 利用者様に対して出来ることはしていただき、出来ないことを支援していく仕組みの確立 (残存機能を意識して) リスク管理の構築 **リハビリテーションの充実**

- (2) 嘱託医との連携・看取り介護の充実

- (3) 職員が働きやすい環境整備

「働き方改革」を推進していく仕組みの構築、有給休暇の計画取得に向け取り組んでいく。

- (4) 職員の資質向上・人材育成

職員全員がスキルアップを目指し、資格取得へ積極的に取り組む。外部講師を招聘し、新人教育及び職員研修の充実を図っていく。

・資格取得のための支援 (環境支援)

・OJT・エルダー制度の確立（新人教育及び外国人教育の充実）

（５）情報公開の確立

「かごしま子育て応援企業」及び「ユースエール認定」としての誇りを持ち
前向きに取り組んでいく

ホームページによる情報開示・財務内容の開示

さつま園だよりの定期発行・各種チラシ等の作成

（６）財政基盤の強化

職員個々が経費節減に努め、安定した法人経営の実践

（７）人材確保・離職防止

人材確保に関して、ホームページ等で外部へ法人の魅力を発信することにより応募をしやすいように工夫していく、研修会の充実を図り法人職員としてのスキルアップ及び給与体系の充実を図っていく。

（８）地域との連携及び社会活動への取り組み

地域に根ざした福祉拠点としての活動、地域交流室の開放及び利用者を含め地域活動へ積極的に参加・貢献していく。認知症の方への理解と支援を推進し、オレンジカフェの広報活動 思いやりネットワークによる地域貢献活動の実践

（９）職員のメンタルケア

職員のストレスチェックを通して「心の健康づくり」の保持増進を図る。

新型コロナウイルス感染が、昨年８月と今年１月に入り利用者及び職員に感染してしまいました。特に１月の感染については感染者が増えていく毎日でしたが連日対策会議を開催し、これ以上感染しないように努めてきました。しかしながら今後もウイルスの侵入を許す懸念があるため職員全員が初心に戻りマニュアルの徹底をしていくよう指示したところです。

【外国人雇用に関して】

フィリピン人３名が５月２７日に鹿児島県に入国し、正式には６月１日付でさつま園介護職員となりました。大変素直な子たちで日本語の勉強も頑張っている様子である。教えがいのある職員を雇うことが出来、良かったと思っています。

もう一人に関しては、9月30日に入国し10月1日付で正式に職員となりました。ここまで1年が経過し、担当職員を配置していますが、この子たちに刺激を受けたのか、先輩の介護職員達も一層頑張っているようであり、良い効果が生まれているようです。これから資格取得に向け努力していかなければならず大変だと思いますが頑張っています。また、居住を構えた熊田集落の方たちからも評判が良く集落の行事等にも積極的に参加しているようである。

【待機者状況】

当園だけでなく全国的に高齢者人口が減っている状況から待機者が激減しており、鹿児島県内でもかなりの施設で空床が目立ち始めている。これといった対策はなく、やはり選ばれる施設作りが一番大事になってくると考えられる、今の所川薩地区では少ない所もあるようであるが、空床まではいかないと考えている。いづれにしても職員教育の充実を図っていきたいと思っています。先月さつま町役場に対して、三施設合同で特例入所（要介護1・2の方の入所）の件事例を交え交渉したところです。加算が絡む関係で慎重に交渉にあたることを三施設で確認した。

【物価・光熱費等の高騰対策】

光熱費の上昇率が30%近くとなっており、かなり厳しい状況が続くものと感じています。今後食料品等の値上げも大きく報道されており、日清医療食品(株)との兼ね合いもあり、慎重に契約を締結したいと思っています。昨年度同様鹿児島県に対して「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の要請をし、同時に薩摩川内市及びさつま町へも「物価高騰に対する地方交付税の支援金」を要請したところである、時期としては6月議会以降になる公算が強い

【在宅部門について】

ヘルパーステーションに関して平成10年から地域の方々の生活のお手伝いとして運営してまいりましたが、さすがに働き手がいない状況の中運営することは不可能となり、廃業することと致しました。これまで多くの関係者のご協力をいただけてきましたが、残念な結果となってしまいました。廃業届は鹿児島県及びさつま町へ提出済み。また、居宅介護支援事業所に関しては、これまで所長としての資格は有するものの法改正があり、管理者は、主任介護支援専門員でなければならないとなっており、有資格者である、在宅管理次長に所長を引き受けてもらうことと致しました。十分その能力はあり、今後他の職員と協力体制を築いてもらいたいと思います。

【施設・事業所運営】

令和4年度は、新型コロナウイルスの影響から施設においては、前半は順調に推移していたが後半は入院が増えたためショートステイなどの利用で善戦したが、人件費・光熱費や食料品等の物価高騰、また施設内増築や改築をした影響もあり赤字経営となっている。施設内看取り介護の充実を図っていきたいと思います。デイサービスにおいては入院や施設入所等色々要因はありましたが、平均利用率がかなり落ち込み赤字経営となっている、新規利用者開拓の努力に期待したいものである。居宅介護支援事業所は新規開拓もあり善戦している。2025年問題（団塊の世代が後期高齢者となる）を目前に控えこれからも新規利用者が増えていくのではないかと考えています。

理事長	施設長	副施設長	事務長	総務次長
				

令和 4 年度 法人本部事業報告

社会福祉法人同仁会

令和4年度 事業報告書

1、会務の状況

(1) 理事会、評議員会、監事監査、評議員選任・解任委員会等の状況

1) 理事会

① 第1回理事会

日 時	令和4年6月7日（火）14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和3年度 事業報告の承認について 第2号議案 令和3年度 収支決算の承認について 「監事監査報告」 第3号議案 社会福祉法人同仁会 定款一部変更について 第4号議案 令和3年度 第1回定時評議員会の開催（案）について 【報告事項】 1) さつま園浴室増築及び一部改修工事の件について 2) 職員の異動について

② 第2回理事会

日 時	令和4年10月26日（金）14時00分から14時40分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和4年度 第1回 理事長及び業務執行理事の業務執行報告について 【報告事項】 1) 令和4年度における指導監査（集合監査）結果について 2) 職員の異動について

③ 第3回理事会

日 時	令和4年12月7日（金）14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和4年度 第1次補正予算（案）の承認について 第2号議案 経理規程一部改正（案）について 第3号議案 給与規程一部改正（案）について 第4号議案 非常勤職員就業規則一部改正（案）について 第5号議案 ヘルパー就業規則一部改正（案）について 第6号議案 育児・介護休業規程一部改正（案）について 第7号議案 さつま園ヘルパーステーション廃止について 第8号議案 令和4年度 第2回評議員会の開催（案）について 【報告事項】 1) 職員の異動について

④ 第4回理事会

日 時	令和5年3月10日（金）14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和4年度 第2次補正予算（案）の承認について
	第2号議案 令和5年度 事業計画（案）の承認について
	第3号議案 令和5年度 当初予算（案）の承認について
	第4号議案 居宅介護支援事業所さつま園所長の選任及び解任について
	第5号議案 令和5年度 会社役員賠償責任保険の契約(更新)について
	第6号議案 令和4年度 第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告（案）について
	第7号議案 令和4年度 第3回評議員会の開催(案)の承認について
	第8号議案 令和5年度 定期昇給の一部停止の承認について
	【報告事項】 1) 職員の異動について

2) 評議員会

① 第1回定時評議員会

日 時	令和4年6月23日（木）14時00分から15時00分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和3年度 事業報告の承認について
	第2号議案 令和3年度 収支決算の承認について
	「監事監査報告」
	第3号議案 社会福祉法人同仁会 定款一部変更について
	【報告事項】 1) さつま園浴室及び一部改修工事の件について
	2) 職員の異動について

② 第2回評議員会

日 時	令和4年12月16日（金）14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和4年度 第1次補正予算（案）の承認について
	第2号議案 経理規程一部改正（案）について
	第3号議案 給与規程一部改正（案）について
	第4号議案 非常勤職員就業規則一部改正（案）について
	第5号議案 ヘルパー就業規則一部改正（案）について
	第6号議案 育児・介護休業規程一部改正（案）について
	第7号議案 さつま園ヘルパーステーション廃止について
	【報告事項】 1) 令和4年度における指導監査(集合監査)結果について
	2) 職員の異動について

③ 第3回評議員会

日 時	令和5年3月20日(水) 14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和4年度 第2次補正予算(案)の承認について 第2号議案 令和5年度 事業計画(案)の承認について 第3号議案 令和5年度 当初予算(案)の承認について 第4号議案 宅介護支援事業所さつま園所長の選任及び解任について 第5号議案 令和5年度 定期昇給の一部停止の承認について 【報告事項】 1) 職員の異動について

3) 監事監査

日 時	令和4年5月31日(火) 10時00分から15時00分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
内 容	1) 令和3年度の事業報告等の監査 2) 令和3年度の計算書類及び財産目録の監査

4) 内部経理監査

日 時	令和4年10月18日(火) 14時00分から15時00分
場 所	さつま園事務所及び地域交流室
業 務	会計処理等について
実施者	施設管理次長 井ノ原 邦彦 業務管理次長 上原 耕三

5) 評議員選任・解任委員会

日 時	開催無し
-----	------

2. 指導監査等

日 時	令和4年9月29日(集合監査)
対象施設	社会福祉法人同仁会・特別養護老人ホームさつま園
監査結果	おおむね適正に運営されていると認められる

3. 総務・事務

目標

- ①物品係との連携を図り、必要物品の把握・発注に努める。
- ②価格調査を実施し、経費節減を図る。
- ③年次有給休暇5日取得の推進を徹底する。
- ④研修の把握をする。
- ⑤節電・節約を周知する。

- ⑥健康診断・腰痛検査等の予定を早期に計画する。
- ⑦福利厚生の実施を図る。
- ⑧コロナ感染症対策として、来園者の健康チェックを徹底する。

反省

- ①物品係と常に連携を図り、発注漏れ等は無くスムーズに行えた。
- ②価格調査は、3ヶ月に1回程度行い品質は維持しながら、安価な物を購入する事が出来た。
- ③年休簿・リフレッシュ休暇簿の更新は確実にを行い、年休10日以上付与されている職員に対し声掛けを行い年休5日取得が確実に出来た。
- ④ほぼWEBでの参加であったが、職員のスキルアップに繋がる研修会に参加する事ができた。
- ⑤経費削減の声掛け等を主任会議・職員会議で行い、職員の意識付けにもなり、節電や節約に取り組む姿が見られました。
- ⑥健康診断・腰痛検査は予定通りの実施が出来ていた。
- ⑦コロナ感染症対策に取り組む職員の労をねぎらう意味で、12月末に抽選会を実施し、職員にとっても喜んでもらいました。
- ⑧コロナ感染症予防として、直接面会の制限を設けていましたが、面会問合せに対応する事が多かった。丁寧な対応を心がけました。また、来園者の健康チェックは、しっかりと行いました。皆さん慣れているようで、しっかりと対応していただきました。

4. 事業の成果

(1) 介護保険事業に係るその他の事業収入

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	介護職員処遇改善支援補助金	2,423,994 円
2	外国人材受入支援事業費補助金（鹿児島県）	68,000 円
3	物価高騰等対策支援給付金（さつま町）	1,050,000 円
4	物価高騰等対策支援給付金（鹿児島県）	1,050,000 円
5	感染防止対策支援事業費補助金（鹿児島県）	643,000 円
6	介護事業所等サービス継続支援事業費補助金（鹿児島県）	1,406,000 円
合計		6,640,994 円

②さつま園短期入所生活介護

	摘要	金額
1	物価高騰等対策支援給付金（さつま町）	150,000 円
合計		150,000 円

③さつま園デイサービスセンター

	摘要	金額
1	介護職員処遇改善支援補助金	294,055 円
2	物価高騰等対策支援給付金（さつま町）	180,000 円
3	物価高騰等対策支援給付金（鹿児島県）	180,000 円
合計		654,055 円

④さつま園ヘルパーステーション

	摘要	金額
1	介護職員処遇改善支援補助金	93,020 円
2	物価高騰等対策支援給付金（さつま町）	120,000 円
3	物価高騰等対策支援給付金（鹿児島県）	20,000 円
合計		233,020 円

⑤居宅介護支援事業所さつま園

	摘要	金額
1	物価高騰等対策支援給付金（さつま町）	20,000 円
2	物価高騰等対策支援給付金（鹿児島県）	20,000 円
合計		40,000 円

(2) 事業活動に係る雑収入

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	8月コロナ感染による休業損害保険金（短期入所）	134,546 円
2	8月コロナ感染による感染対策費用保険金	437,126 円
3	不燃物置き場倉庫サッシ取替保険金（台風災害）	181,500 円
4	1月コロナ感染による休業損害保険金（短期入所）	46,120 円
5	1月コロナ感染による感染対策費用保険金	494,284 円
合計		1,293,576 円

②さつま園デイサービスセンター

	摘要	金額
1	8月コロナ感染による休業損害保険金（2日間）	74,524 円
合計		74,524 円

(3) 施設整備等に係る収入

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	介護施設等における新型コロナウイルス感染防止対策支援補助金	6,000,000 円
合計		6,000,000 円

(4) 固定資産取得に係る支出

①建物取得支出

特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	さつま園カーム館特浴室増築工事	15,399,228 円
2	さつま園本館改修工事	11,544,263 円
合計		26,943,491 円

②車輻運搬具取得支出

特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	電動アシスト付き自転車 4 台 (外国人用)	439,470 円
合計		439,470 円

③器具及び備品取得支出

特別養護老人ホームさつま園

	摘要	数量	金額
1	車いす用体重計	1 台	225,500 円
2	電動ベッド	3 台	673,200 円
合計			898,700 円

(5) 修繕費支出

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	数量	金額
1	ボイラ不調修繕	一式	121,000 円
2	井戸水給水ポンプモーター分解整備	一式	437,800 円
3	不燃物置き場倉庫サッシ取替	一式	165,000 円
合計			723,800 円

②さつま園デイサービスセンター

	摘要	数量	金額
1	改修工事	一式	212,509 円
2	脱衣所洗面台蛇口取替工事	一式	90,000 円
3	大浴場蛇口取替工事	一式	98,000 円
4	空調機修理	一式	165,000 円
合計			565,509 円

(6) 福利厚生費支出

①法人本部

	摘要	金額
1	役員賠償責任保険	83,500 円
合計		83,500 円

②特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	看護師傷害保険料（4 名）	16,160 円
2	職員一般傷害保険料	533,280 円
3	健康診断料（夜勤者）	100,650 円
4	健康診断料	338,685 円
5	腰椎検診料（年 2 回）	334,628 円
6	インフルエンザ 予防接種代（56 名実施）	190,100 円
7	永年勤続表彰（10 名）	159,057 円
8	抗原検査キット	201,176 円
9	熊田住居（外国人）に係る経費	581,006 円
10	コロナ感染対応職員宿泊費 12 名分	234,300 円
11	検便代	47,080 円
合計		2,736,122 円

③さつま園デイサービスセンター

	摘要	金額
1	腰椎検診料（10 名）	45,220 円
2	インフルエンザ 予防接種代（10 名実施）	37,300 円
3	健康診断料（11 名）	62,401 円
4	検便代（11 名分）	9,240 円
合計		154,161 円

④さつま園在宅介護支援センター

	摘要	金額
1	インフルエンザ 予防接種代 (1 名分)	4,000 円
2	健康診断料 (1 名分)	6,804 円
合計		10,804 円

⑤さつま園ヘルパーステーション

	摘要	金額
1	インフルエンザ 予防接種代 (5 名分)	14,600 円
2	健康診断料 (1 名分)	6,804 円
3	検便代 (5 名分)	22,010 円
合計		43,414 円

⑥居宅介護支援事業所さつま園

	摘要	金額
1	インフルエンザ 予防接種代 (2 名分)	8,000 円
2	健康診断料 (2 名分)	13,608 円
合計		21,608 円

(7) 備品処分

①特別養護老人ホームさつま園

名 称	数量	取得年月日	取得価格	令和 4 年 3 月末 帳簿価格
車椅子体重計	1	平成 15 年 7 月 1 日	157,500 円	1 円
按摩器	1	昭和 59 年 7 月 1 日	138,500 円	1 円
電子ピアノ	1	昭和 62 年 6 月 1 日	110,000 円	1 円
レーザープリンター	1	平成 13 年 6 月 1 日	348,180 円	1 円
ノートパソコン (FMV)	1	平成 5 年 6 月 1 日	147,000 円	1 円

②さつま園デイサービスセンター

名 称	数量	取得年月日	取得価格	令和 4 年 3 月末 帳簿価格
ローラーチェアー	1	平成 10 年 3 月 1 日	378,000 円	1 円
マイクロタイザー	1	平成 10 年 3 月 1 日	399,000 円	1 円
オートヘルサー	1	平成 10 年 3 月 1 日	1,942,500 円	1 円
製氷機	1	平成 10 年 3 月 1 日	222,600 円	1 円
7&ミスロブ (浴室用)	1	平成 13 年 12 月 1 日	162,750 円	1 円
デスクトップパソコン	1	平成 20 年 3 月 1 日	126,000 円	1 円

(8) 介護保険事業

1) 施設・各事業所

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホームさつま園）

利用者定員 70 名（従来型個室 20 名）（多床室 50 名）
・延べ利用者数 24,106 名（66.0 人/日）稼働率 94.3%
前年度比：98.7%（321 名減）
さつま園会計支出按分比率 91%

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

利用者定員 10 名
・延べ利用者数 2,865 名（7.8 名/日）稼働率 78.4%
前年度比：89.2%（348 名減）
ショートステイ会計支出按分比率 9%

③通所介護事業所（さつま園デイサービスセンター）

利用者定員 40 名
・延べ利用者数 6,446 名（21.2 名/日）営業日数 304 日
介護延べ人数 3,910 名 前年度比：85.1% 687 名減
予防延べ人数 2,391 名 前年度比：90.5% 250 名減
総合事業延べ人数 145 名 前年度比：57.3% 108 名減

④訪問介護事業所（さつま園ヘルパーステーション）

・延べ利用者時間 1,177 時間 00 分 前年度比：1,014 時間 00 分減
実人数 21 名（前年度比：18 名減）
身体介護 312 時間 00 分（624 件）前年度比：296 時間 00 分減
生活援助 324 時間 00 分（612 件）前年度比：275 時間 00 分減
身体生活 189 時間 00 分（230 件）前年度比：56 時間 00 分減
総合事業 352 時間 00 分（739 件）前年度比：387 時間 00 分減

⑤居宅介護支援事業（居宅介護支援事業所さつま園）

・介護計画作成件数
介護給付 958 件 前年度比：94.7% 54 件減
予防給付 57 件 前年度比：53.8% 49 件減
合計 1,015 件 前年度比：90.8% 103 件減

(9) 委託事業（さつま町委託事業）

1) 在宅介護支援事業（さつま圏在宅介護支援センター）

- ・ さつま町在宅介護支援センター総合相談業務委託
年間延べ相談件数 80 件 前年度比：76.2%（25 件減）
- ・ さつま町認知症カフェ設置業務委託
新型コロナウイルス感染予防対策のため開催無し
- ・ ふれあいサロン、ころばん教室等への参加

令和 4 年度

さつま園事業実績報告書

(介護老人福祉施設事業)

(短期入所生活介護事業)

令和 5 年 5 月
さ つ ま 園

理事長	施設長	副施設長	事務長
			

相談課

1. 適切な施設経営を行うための効率化、稼働率の高水準確保に努める。
(長期入院の場合の退所の見極めと利用者及び家族への十分な説明とフォローの実施)
2. 感染症対策を徹底し、感染防止に努める。
3. 地域包括ケアシステム推進の観点から、施設での看取り介護についての啓発と実施を図る。
4. 短期入所に関する啓発を図り、利用促進につなげる。
5. 入所待機者の把握に努め、スムーズな入所につなげる。合わせて、地域への啓発・広報を強化し入所待機者の確保を図る。
6. 記録・書類の整備

評価：

令和4年8月、令和5年1月のコロナ感染症の施設内感染の確認により新規入所や短期入所の受け入れを一時的に中止したこともあり、稼働率の低下につながった。

感染防止対策については、定期的な感染症対策委員会の開催および外部研修会への参加を基に、随時新しい情報の共有に努めた。感染下においては嘱託医や近隣の医療機関の協力や、事前に感染防止の物品が準備されていたことにより、感染を最小限に留めることができたと考える。

コロナ禍においても本人、家族等の意向を把握し可能な限り自然であたたかい雰囲気での看取り介護を行うことができた。

地域の実情として入所待機者が減少している。医療機関や居宅介護支援事業所の介護支援専門員等との情報共有を図り、入所待機から入所につながる働きかけを行い、継続している。

介護職員

1. 外国人を迎えるにあたり、再度基本的な介護の実践と、利用者個々の状態に沿ったケアの統一を目指す。
2. 担当・係に固執せず、職員間でカバーしあう気持ちで、声かを掛け合いながら業務行う。
3. 職員同士、互いに目を合わせて気持ちの良いあいさつをする。
4. 各自、スキルアップに努める1年にする。

評価：

外国人を介護職員として迎え入れたことにより、事業所内の介護の質に対する意識が高まった。さらに、外国人への指導を通じて、既存職員の介護スキルの見直し、再構築につながる活動を行っている。また、コミュニケーションを図り、互いを尊重し、職員間でカバーし合う体制づくりに努めた。

看護職員

1. 利用者の体調変化には早めに気づき、的確な対応に努める。
2. 医療機関との連携を密にし、必要時の適切な対応が出来るように努める。
3. 職種間の連携を図り、必要な医療行為を適切に行う。
4. 看取り介護、中重度者介護に積極的に取り組む。
5. 看護記録を充実させる。

評価：

介護職員との情報共有により利用者の体調の変化には早めに気づき対応できるように努めた。

医師への報告、家族等への連絡も早い段階で行った。終末期利用者の看取り介護や医療提供の希望の把握に努め、適切な終末期の医療・介護につなげる必要があると感じている。

機能訓練

1. 個別の関わりでの継続と集団活動の充実を図り、利用者様の生活に変化や潤いを与える役割を果たす。
2. 多職種間との連携をしっかりと行い、適切な情報共有・情報提供を行う。
3. フットワークを軽くして柔軟に対応する。
4. 評価・計画書作成を確実に行う。

評価：

集団活動は感染状況をみながら実施してきたが、感染拡大もあり思うように実施できなかった。

集団活動が出来ない場合は個別訓練内で手工芸やアロマ風マッサージをしたりと実施方法を工夫した。

情報共有は意識して実施した。提供する情報も適切な内容に留意した。

スタッフや利用者からの相談、要望などには、期日を定め早期に対応するように努めた。

機能訓練計画書の作成は管理表を作成して定期的に作成・見直しを行った。短期入所利用者の機能訓練にも対応するように努めた。

管理栄養士・栄養士

1. 多職種との連携を図ると同時に、LIFEのフィードバックを生かす。
2. 栄養状態改善を通じて利用者様個々に合わせた栄養ケア計画を策定する。
3. 日清医療食品との連絡・調整を行い、安心・安全な食事を提供する。
4. 栄養関係の物品管理を徹底する。

評価：

利用者の状態に合わせた食事・栄養を提供できた。

栄養計画を確実に作成した。

日清医療食品との連絡調整を行い、情報交換やヒヤリハットの対策などで連携して取り組んだ。

専門部

行事レクリエーション係

①年間を通じて利用者様に楽しんでいただけるような四季折々の行事を計画する。

②レクリエーションの計画は事前（1週間前）に提示。準備は前日までに行う。

③レクリエーション会議を定期的開催して活動内容の充実を図る。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：

感染症により行事の中止や延期があり、予定通りの実施が行えなかった。行事の準備段階では、事前の通知により概ね周知されていた。勤務状況や利用者の状態などによりレクリエーションの会議を持つことが難しかったが、活動内容は充実していたと振り返っている。

給食係

①利用者様個々に合った食事の提供に努める。

②食事摂取量・水分摂取量のチェック体制を強化し把握に努める。

③栄養士や日清医療食品と連携する。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：

カンファレンスを開催し、状態に応じた食事の変更に早めに対応することができた。

コロナの感染や体調不良の利用者にも早期に対応できた。施設の栄養士や日清医療食品の職員との連携は、都度声掛けを行うように努めた。

食事・水分摂取量のチェックを行っているが、确实且つ正確に実施する体制が必要と感じている。

排泄係

- ①利用者個々の排泄状況を把握し、職種間で情報共有・相談しながら連携に努める。
- ②パッドや交換時間・回数などを随時検討し、利用者が安心できる排泄支援を行い、QOLの維持、向上を目指す。
- ③オムツ除去へ向けた取り組みを実施していく。
- ④尿路感染、スキントラブル防止に努める。

評価：

職員間で情報共有し、利用者個々の状態に応じ適切な対応をすることができた。
水分・食事摂取量や皮膚状態の情報の把握、周知に努め、介護看護職員で連携しながら排泄支援（交換回数・陰部洗浄・パッドの検討）を行った。引き続き尿路感染やスキントラブル防止に努める必要がある。

入浴・衛生管理係

- ①利用者の状態に沿った入浴介助を行い、安心・安全にゆっくりとした入浴と清潔が保持できるように支援する。
- ②個々の利用者様の口腔ケアチェック表の活用と歯科医師、看護職員からの指導・助言を受けながら利用者の口腔内の清潔保持・トラブル防止・口腔内環境の改善に努める。
- ③口腔ケアの物品の管理方法を検討し、物品の清潔を保持できるようにする。
- ④利用者の身だしなみ（整髪・眼脂・爪切り・髭剃り・耳掃除など）の管理に努める。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：

利用者に応じて入浴（特浴・リフト浴）の変更を行ってきた。
コロナ感染により体調不良者が増加、重度化が目立つようになり特浴者が半数近く（26名）となり、入浴形態、時間、人数などの配分の変更を行った。
入浴介助による感染リスクが高いことも実感し、短期入所利用者の入浴について対応を検討している。口腔ケアは、たきかわ歯科による往診や研修により、本人・職員への意識付けにもつながっている。利用者の身だしなみでは、チェック表を活用し実施している。

リハビリ係

- ①機能訓練指導員、多職種と連携を取りながら、全職員が利用者の個別性を把握し、座位姿勢の保持や臥床時のポジショニング等、全職員が意識して実行できるように継続した取り組みを行う。
- ②日常生活の中で、心身両面に向き合い、利用者様の残存機能の活用について考え、実践する。
- ③小集団（個別）余暇活動やレクをグループ分けしながら、機能訓練指導員、レク係とも連携して実施していく。

評価：

係を中心に多職種で連携できたが、不十分と感じるところもあった。

情報共有では、写真付きで掲示するなど工夫して取り組んだ。

職員個々により意識の差を感じることがあった。

補助バーや手すりを使用し残存機能を活用するよう整えたが、食事などは全介助になっている場面も見受けられた。

OT係

①利用者が見やすく、行事を振り返ることができるような写真啓示を迅速に行う。

②書道教室を定期的に開催する。

③多床室・カームで協力して菜園活動を盛り上げて継続し、利用者の生活の楽しみにする。

評価：

写真掲示ではサイズや掲示の方法などを工夫して見やすく掲示できるようにした。

書道教室は感染期間を除いては、定期的の実施できた。半紙のサイズを変更したり、表彰を行うなどして利用者が参加できるように努め、楽しんでいただいていた。

菜園の管理が行き届かなかった面があるが、参加された利用者は喜ばれていた。

物品係

①リネン庫の整理整頓の徹底

②在庫管理を徹底する。

※定期的に検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：

リネンは週1回は交換している。汚染等が目立つ場合には都度交換するが、交換の目安が曖昧で汚染が広がるケースもあった。コロナ禍で外部との接触が少ないことも緊張感の低下を招き、清潔動作につながらない要因となっていた。

リネン庫内の表示を管理しやすい表記に変更した。品物の整理を実施した。定期的に在庫管理を行い、職員へも通知を継続してきたが、品物の在庫が不一致になることも少なくなってきた。

実習担当係

①生徒が施設に就職したいと思えるような情報提供・実習指導に努める。

②状況に応じて学校へ出向き、実技指導、講義などを提供する。

※適宜検討会を開催。記録及び周知に努める。

評価：

感染症により実習受け入れの機会が得られなかった。
学生に対し、出前授業を行うなどして学習の機会をつくった。

リスク係

- ① 同じような事故を繰り返さないよう状況の検証を十分に行い、再発防止策を徹底する。
また、リスク対策表を活用し再発防止策の周知徹底に努める。
- ② 誤薬を防ぐ
- ③ 小さな変化を見逃すことがないよう、ヒヤリハットを記録に残し、職員間での情報共有・事故防止につなげる。

評価：

誤薬など未然に防ぐことができるインシデントが発生した。
転倒が多く確認され、補助バーの未設置など環境整備が不十分で起きた転倒もあった。

令和４年度 さつま園入所・短期入所利用実績

月	入所	一日当たり	短期	一日当たり
R4/4	2005	66.8	272	9.0
R4/5	2073	66.8	230	7.4
R4/6	1958	65.2	232	7.7
R4/7	2031	65.5	243	7.8
R4/8	2107	67.9	184	5.9
R4/9	2024	67.4	255	8.5
R4/10	2119	68.3	254	8.1
R4/11	1998	66.6	239	7.9
R4/12	2047	66.0	278	8.9
R5/1	1998	64.4	224	7.2
R5/2	1669	59.6	210	7.5
R5/3	2077	67.0	244	7.8
総数	24106	66.0	2865	7.8
稼働率	94.30%	—	78.40%	—

※小数点第２位以下は切り捨て

特養入所年齢別利用者数

さつま圏

令和4年4月～令和5年3月

印刷日 令和5年5月27日

年 区	齢 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男						153(5)		365(12)		518(17)
	女										
	計						153(5)		365(12)		518(17)
60 ～ 64	男						212(7)				212(7)
	女										
	計						212(7)				212(7)
65 ～ 69	男						365(12)				365(12)
	女										
	計						365(12)				365(12)
70 ～ 74	男							405(14)			405(14)
	女										
	計							405(14)			405(14)
75 ～ 79	男							948(34)			948(34)
	女						30(1)	671(22)	166(6)		867(29)
	計						30(1)	1619(58)	166(6)		1815(63)
80 ～ 84	男						235(8)	365(12)	375(13)		975(33)
	女						570(20)	597(20)	365(12)		1532(52)
	計						805(28)	962(32)	740(25)		2507(85)
85 ～ 89	男						79(3)	207(8)			286(11)
	女						391(16)	1708(57)	1623(54)		3722(127)
	計						470(19)	1915(65)	1623(54)		4008(138)
90 ～ 94	男						517(18)	635(22)			1152(40)
	女						1036(34)	5303(181)	1963(66)		8302(281)
	計						1553(52)	5938(203)	1963(66)		9454(321)
95 ～ 99	男						121(4)	111(5)			232(9)
	女						987(34)	1939(64)	977(33)		3903(131)
	計						1108(38)	2050(69)	977(33)		4135(140)
100 ～	男							306(10)			306(10)
	女							365(12)	16(2)		381(14)
	計							671(22)	16(2)		687(24)
合 計	男						1682(57)	2977(105)	740(25)		5399(187)
	女						3014(105)	10583(356)	5110(173)		18707(634)
	計						4696(162)	13560(461)	5850(198)		24106(821)

平均介護度: 4.04 男性: 3.83 女性: 4.11

平均年齢: 88.1 男性: 80.3 女性: 90.4

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) …… 前半の数字は延日数。()内の数字は実人数を表示しています。

短期入所生活介護 年齢別利用者数

さつま圏

令和4年4月 ～ 令和5年3月

印刷日 令和5年5月27日

年 区	齢 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
60 ～ 64	男										
	女										
65 ～ 69	男				11(1)						11(1)
	女				11(1)						11(1)
70 ～ 74	男				2(1)						2(1)
	女					25(7)			173(12)		198(19)
75 ～ 79	男				2(1)	25(7)			173(12)		200(20)
	女						2(1)	14(2)	9(4)		25(7)
80 ～ 84	男				6(1)				57(5)		63(6)
	女				7(1)	10(3)		98(4)	43(5)		158(13)
85 ～ 89	男				23(5)	48(3)		30(2)	47(3)		148(13)
	女		3(1)	11(2)	123(10)	293(16)	218(18)	1(1)			649(48)
90 ～ 94	男				342(14)		41(2)	49(5)			432(21)
	女				6(2)	103(11)	43(6)	282(16)	212(16)		646(51)
95 ～ 99	男				6(2)	12(2)	7(2)	16(2)			41(8)
	女				268(13)	62(5)	52(4)	71(12)	4(1)		457(35)
100 ～	男										
	女										
合 計	男				390(24)	60(5)	50(5)	109(11)	113(12)		722(57)
	女		3(1)	27(6)	506(38)	423(34)	680(44)	284(29)	220(18)		2143(170)
	計		3(1)	27(6)	896(62)	483(39)	730(49)	393(40)	333(30)		2865(227)

平均介護度: 2.64 男性: 2.68 女性: 2.63

平均年齢: 88.2 男性: 87.6 女性: 88.4

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) ・・・・ 前半の数字は延日数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	課長	相談員
				

令和4年度 実績報告・反省

さつま圏 デイサービスセンター

<実績報告>

- ・年間延べ利用者数 — 6,446名（前年度比 — 1,045名減）
→年間延べ利用者数内訳（介護3,910名、総合事業2,536名）
- ・年間実利用者数 — 130名
- ・年間営業日数 — 304日（コロナ陽性者発生の為2日間休業・積雪の為1日休業）
- ・年間1日平均 — 21.20名（詳細については別紙記載）

<反省>

・年間の実績においては延べ利用者数が前年度と比較し1,045名の減であった。新規利用者様は前年度と比べ1名減であったが、目立つのは11月迄の前期の利用者数減であった。コロナウィルスによる利用者様の減少は家族等の県外からの帰省に対する1週間の利用制限が5月の連休、盆や年末年始の多い月で10～20名、年間で大きな影響があった。また、入院され退院後の施設入所や死亡、入所等も多く登録者数が減少した。利用者様が高齢化しており90歳以上の方々が半数を超えている状況である。体力的にきつく欠席が多くなり登録者に対して稼働率が上がらない状況であった。入院されない環境づくりと、新規利用者様の獲得が必要である。30名の登録者に対しての稼働率を意識していかなければならない。道路環境に応じ短時間営業を行い臨時休業をできるだけなくす事業所体制づくりに努めていきたい。

令和4年度実績報告書

さつま圏 デイサービスセンター

年月日	延べ利用者数	実利用者数	介護延べ人数	介護実人数	予防延べ実人数	予防実人数	事業対象者延べ人数	事業対象者実人数	営業日数	1日平均数
R4. 4	538名(－164名)	91名	327名	55名	199名	34名	12名	2名	26日	20.69名
R4. 5	508名(－173名)	88名	309名	51名	186名	35名	13名	2名	26日	19.53名
R4. 6	538名(－162名)	87名	324名	50名	200名	35名	14名	2名	26日	20.69名
R4. 7	540名(－119名)	86名	330名	49名	198名	35名	12名	2名	26日	20.76名
R4. 8	483名(－84名)	89名	346名	51名	182名	36名	12名	2名	23日	21.0名
R4. 9	551名(－122名)	88名	331名	49名	207名	37名	13名	2名	26日	21.19名
R4. 10	576名(－73名)	91名	352名	53名	211名	36名	13名	2名	26日	22.15名
R4. 11	569名(－36名)	89名	331名	50名	225名	37名	13名	2名	26日	21.88名
R4. 12	569名(－19名)	89名	331名	51名	225名	36名	13名	2名	25日	22.76名
R5. 1	484名(－45名)	85名	290名	49名	184名	34名	10名	2名	23日	21.04名
R5. 2	527名(－20名)	89名	333名	53名	182名	34名	12名	2名	24日	21.95名
R5. 3	603名(＋13名)	92名	388名	54名	206名	36名	9名	2名	27日	22.33名
計	6,446名	130名	3,910名		2,391名		145名		304日	21.20名
前年度比	(－1,045名)		(－687名)		(－250名)		(－108名)		(－1日)	(－3.36名)

※ 8/22(月)・23(火)ー8/19利用された利用者様にコロナ陽性者が8/20確認された為、臨時休業。

※ 1/25(水)道路の積雪・凍結ひどく臨時休業。

年齢別利用者数

サービス：通所介護
対象年月：令和4年4月～令和5年3月
出力対象：サービス予定実績

年 区	年齢 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
	計										
60 ～ 64	男										
	女										
	計										
65 ～ 69	男										
	女										
	計										
70 ～ 74	男										
	女		40(11)								40(11)
	計		40(11)								40(11)
75 ～ 79	男				82(13)	42(8)					124(21)
	女		96(12)	65(10)	11(3)	115(17)					287(42)
	計		96(12)	65(10)	93(16)	157(25)					411(63)
80 ～ 84	男				49(6)						49(6)
	女		25(7)		224(32)	49(14)	100(16)	130(11)	67(16)		595(96)
	計		25(7)		273(38)	49(14)	100(16)	130(11)	67(16)		644(102)
85 ～ 89	男		78(20)	91(12)	193(30)	38(9)	92(15)				492(86)
	女		193(49)	778(102)	366(62)	179(37)	86(14)				1602(264)
	計		271(69)	869(114)	559(92)	217(46)	178(29)				2094(350)
90 ～ 94	男		98(26)	59(10)	85(18)	109(15)	8(3)				359(72)
	女	51(12)	172(45)	558(93)	774(126)	175(18)	167(21)	54(11)	12(3)		1963(329)
	計	51(12)	270(71)	617(103)	859(144)	284(33)	175(24)	54(11)	12(3)		2322(401)
95 ～ 99	男				6(1)	93(12)		3(2)			102(15)
	女	94(12)	55(16)	83(12)	255(28)	232(36)	113(20)	1(1)			833(125)
	計	94(12)	55(16)	83(12)	261(29)	325(48)	113(20)	4(3)			935(140)
100 ～	男										
	女										
	計										
合 計	男		176(46)	150(22)	415(68)	282(44)	100(18)	3(2)			1126(200)
	女	145(24)	581(140)	1484(217)	1630(251)	750(122)	466(71)	185(23)	79(19)		5320(867)
	計	145(24)	757(186)	1634(239)	2045(319)	1032(166)	566(89)	188(25)	79(19)		6446(1067)

平均介護度： 1.20 男性： 1.22 女性： 1.20

平均年齢： 88.8 男性： 88.5 女性： 88.9

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) …… 前半の数字は延回数。（）内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	在宅課	主任	係
楠添	楠添	芳城元	石神		

令和4年度

事業実施報告書

さつま園

在宅介護支援センター

※ 年間目標に対しての反省点 ※

- ・ 居宅介護支援事業所のケアマネ業務のウェイトが大きく、その業務や問題ケースへの対応に追われた。広く町民への実態把握訪問活動や医療との連携及び民生委員との連絡・連携が十分ではなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策からオレンジカフェの開催を行う事ができなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策から訪問を自粛する必要があり、民生委員や病院を含め積極的な訪問活動が展開できず訪問件数が少なかった。

※ 評 価 点 ※

- ・ 地域包括支援センターや民生委員および行政機関からの対応依頼に対しては、期限内に迅速な対応を行った。
- ・ 民生委員からの携帯への相談にも公休であっても応対し、要望への対処を遅滞なく行った。
- ・ 問題ケースの対応を行政と一体となり取り組め、解決に向けて積極的なアプローチが図れた。

- ・「ふれあいサロン」や「ころばん教室」への参加を例年より数は少なかった継続的に行い、一般高齢者に対してのレクリエーションや健康体操、福祉相談の実施に取り組めた。相談を頂ける機会も増えてきた。

相談実績票

在宅介護支援センター さつま園

1 / 3

対象期間：令和04年04月01日～令和05年03月31日

作成日付：令和05年04月13日

I) 相談件数

【全体】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	80	9	0	69	2
相談延人員	80	9	0	69	2
相談実人員	59	8	0	55	2
【通常相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	80	9	0	69	2
相談延人員	80	9	0	69	2
相談実人員	59	8	0	55	2
新規件数	15	3	0	12	0
【ケアマネ相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	0	0	0	0	0
相談延人員	0	0	0	0	0
相談実人員	0	0	0	0	0

II) 相談内容別件数

相談区分

【通常相談】	延件数	電話	来所	訪問	その他
01 介護・日常生活に関する相談	20	0	0	18	2
01 介護方法に関する相談	1	0	0	1	0
02 本人の心身に関する相談	17	0	0	16	1
03 介護者の心身に関する相談	1	0	0	1	0
04 認知症に関する相談	0	0	0	0	0
05 退院後の生活に関する相談	1	0	0	0	1
06 その他	0	0	0	0	0
02 サービスの利用に関する相談	48	7	0	41	0
01 介護保険サービス	12	6	0	6	0
02 保健福祉サービス	36	1	0	35	0
01 食の自立支援事業	33	1	0	32	0
02 外出支援サービス事業	0	0	0	0	0
03 介護用品支給事業	2	0	0	2	0
04 緊急通報装置事業	1	0	0	1	0
05 徘徊高齢者緊急通報体制整備事業	0	0	0	0	0
06 高齢者福祉電話貸与事業	0	0	0	0	0
07 その他	0	0	0	0	0
03 医療に関する相談	5	1	0	4	0
04 家計に関する相談	0	0	0	0	0
05 家族・社会関係に関する相談	0	0	0	0	0
06 権利擁護に関する相談	0	0	0	0	0
01 成年後見に関する相談	0	0	0	0	0
02 金銭管理に関する相談	0	0	0	0	0
03 消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0
04 身元保証（入院・入所等）に関する相談	0	0	0	0	0
05 死後事務に関する相談	0	0	0	0	0
06 高齢者虐待に関する相談	0	0	0	0	0
01 身体的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
02 ネグレクトに関する相談	0	0	0	0	0
03 心理的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
04 性的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
05 経済的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
06 その他	0	0	0	0	0
07 その他	7	1	0	6	0
計	80	9	0	69	2

理事長	所長	事務長	在官次長	主任	係
					

令和4年度

実績・反省

さつま園ヘルパーステーション

令和4年度 実績報告

さつま圏ヘルパーステーション

◎実動時間 1. 177時間

◎実人数 21名

◎前年度比 53.71% 【▲1014時間】

	時間	件数
身体介護	312時間	624件
生活援助	324時間	324件
身体生活	189時間	189件
介護予防・総合事業	352時間	352件
合 計	1.177時間	1.489件

- ・身体介護 296 時間、生活援助 275 時間減りました。
- ・身体生活 56 時間、介護・総合事業 387 時間減りました。

令和4年度 反省

- ・利用者様の状態把握に気をつけて、少しの変化、状態をスタッフ間、ケアマネジャーに報告・連絡できた。
- ・利用者様家族とも連絡を取り合い、状態や相談等を行うことができた。
- ・認知症で被害妄想の方も多くなっています。声かけ、傾聴に努めコミュニケーションをとりながら支援できました。
- ・新型コロナウイルス感染について、さつま園での開催される予防対策会議の内容を再考検討し、訪問時マスク着用、消毒、検温、換気おこない感染予防対策を図りました。
- ・閉所に伴い、社会福祉協議会・3rdhand・鶴宮園へご利用者様引継ぎを大きなトラブルなく行えました。

理事長	所長	事務長	在宅課長	主任	係
					

令和 4 年度 事業実績報告書

居宅介護支援事業所さつま園

令和4年度 事業実績報告・反省

居宅介護支援事業所さつま園

介護給付	958 件	前年度比 54 件減
予防給付	57 件	前年度比 49 件減

反省

- ・前年度と比較して全体的に給付件数が減少しているが、概ね一定数の支援は行えた。主な紹介元は、包括支援センターや病院が多く、ご家族から直接相談は少なかった。相談内容は多岐に渡り、ニーズも様々であり、独居や高齢者世帯など、キーパーソンが不在であることでの支援が複雑かつ困難なケースが増え時間を要した。
- ・新型コロナウイルス感染予防対策について、昨年度と同様感染対策に注意を払い業務を行った。ご利用者やご家族に、介護サービス利用注意点などについて説明を行い、各サービス事業所と調整を図りながら進めることができた。
- ・コロナ禍で地域へ出向く機会が減少し、介護保険制度の周知や認知症についてアプローチが減少した。来年度は、要介護者やご家族へ

早い段階で支援に繋げることや地域住民に対する啓発活動も含め、相談機関としての役割を果たしていけるようにしたい。

・入退院時の連携シートやさつまるネットの活用が十分に行えなかった。来年度は、医療機関や多職種との連携をより充実したものし、ご利用者が望まれる生活に少しでも近づけるよう支援を行っていきたい。